



木材利用シンポジウム in 高知の開催について

- ・ 四国地域の森林資源が充実し、供給を増大しつつある。
- ・ 一方需要拡大が求められ、土木木材利用は大きな可能性を持つ。
- ・ 土木木材利用により災害に強い地域づくりが図られる。森林・林業において被害防

概要

四国地域の森林資源が充実し、供給の増大が図られていますが、供給が増えても需要が拡大しないと価格が低下するため、より高付加価値な新規需要が求められています。

土木分野は木材資材を多用していましたが、戦後の国産材資源の枯渇など様々な理由から木材を使わなくなり、産業規模から見て木材使用量が少ない状態が続いてきました。

近年、温暖化対策・循環型社会構築などの観点から木材利用が注目されはじめ、それに呼応して土木学会に木材工学委員会が設置され、四国でも四国土木木材利用研究会が発足し、土木木材利用の推進が図られようとしています。

具体的事例として、大地震による地盤の液状化対策に木材を利用する工法の開発が進められ、実証事業も行われています。

土木木材利用に関する理解を深めていただくために、土木学会木材工学委員会と四国土木木材利用研究会は共催で別紙のとおり公開シンポジウムを行います。

当日は是非取材にお越しいただき、紙（誌）面、番組等でご紹介いただければ幸いです。

お問い合わせ先：独立行政法人 森林総合研究所四国支所

支所長 外崎真理雄

産学官連携推進調整監 河原孝行

〒780-8077 高知市朝倉西町2丁目915

Tel : 088-844-1121 (代) Fax : 088-844-1130

Email : koho-ffpri-skk@gp.affrc.go.jp

この資料は、高知県政記者クラブへ配布しています。

